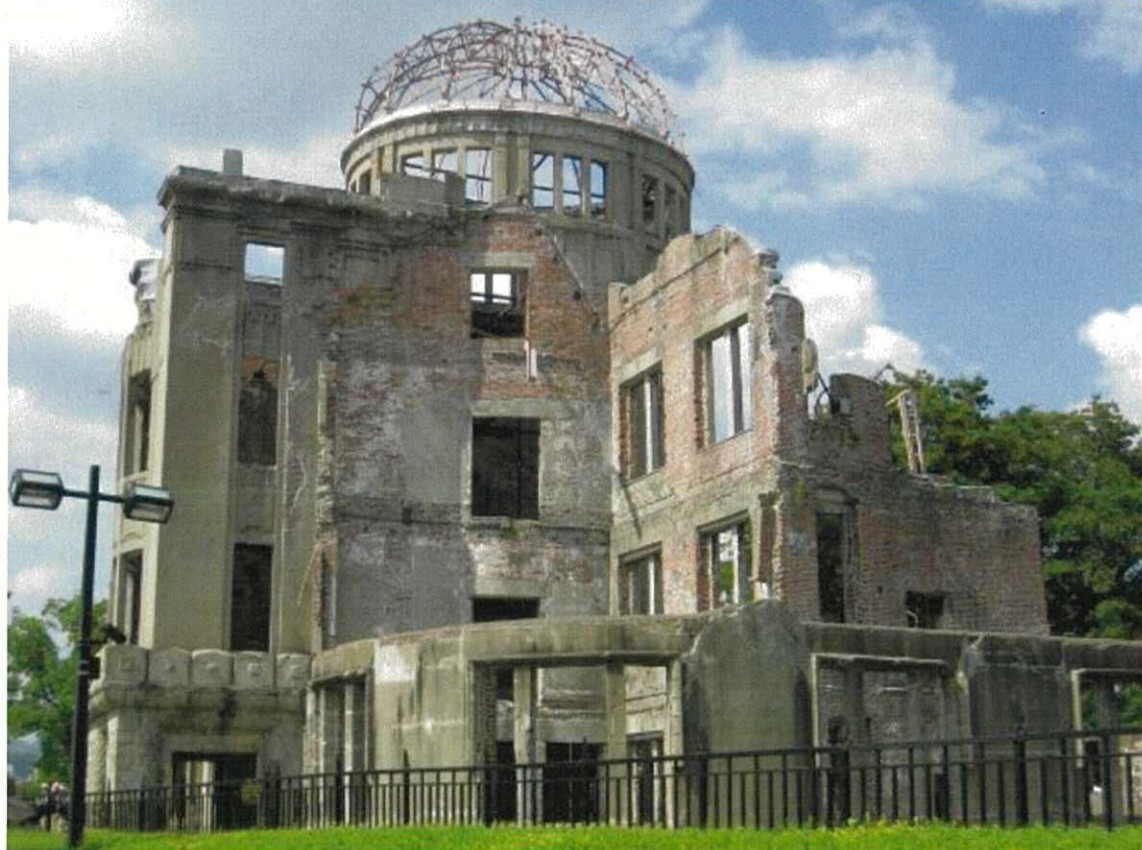


令和6年度版

2024

小・中学生広島平和学習レポート



小平市教育委員会

教育部地域学習支援課

目 次

「小・中学生広島平和学習」の実施にあたって.....	1
小平市非核平和都市宣言	2
平和宣言（令和6年 広島市 平和記念式典）.....	3
「小・中学生広島平和学習」の日程.....	5
事前研修・広島での様子	7
事後研修.....	9
参加者の声	10
参加者名簿.....	31



「小・中学生広島平和学習」の実施にあたって

小平市は、戦後60周年にあたる平成17年に、すべての国の核兵器の廃絶を求め、市民とともに、世界の恒久平和を願い、平和なまちづくりを進める決意のもとに非核平和都市であることを宣言しました。

この宣言からちょうど5年を経過する平成22年度にむけて、非核平和都市宣言にふさわしい事業を検討するため、平成21年度に小平市非核平和事業の在り方等に関する懇談会が設置されました。

この懇談会では、市が新たな平和関連事業に取り組むことで、少しでも世界平和の実現に貢献できればとの願いのもと、検討が行われ、市に報告がなされました。

その報告のなかで、非核平和都市宣言5周年にふさわしい事業として挙げられたもののなかに、参加系事業として「小・中学生の広島派遣事業」がありました。

平成22・23年度には、この事業の実現に向けての検討を行い、平成24年度に「小・中学生広島平和学習」という事業名で実施することができました。

「小・中学生広島平和学習」は、非核平和都市宣言の願いを踏まえ、子どもたちが実際に広島を訪問して原爆ドーム等を見学したり、平和記念式典に参列することで、戦争の悲惨さ、平和の意義について考えてもらうことを目的としたものです。

令和6年度は、小学6年生2人、中学3年生8人の計10人と引率者4人で実施しました。

小平市非核平和都市宣言

世界の平和の実現と核兵器の廃絶は、わたしたち人類共通の願いです。

しかし、世界ではいまだ戦争がやまず、核兵器は人類の脅威となっています。

わたしたちは、世界で唯一の核兵器による被爆を体験した国民として、その悲惨さや恐ろしさを全世界に伝えていく重要な役割を担っています。

先人が築いた玉川上水の清らかなせせらぎと、緑豊かな大地に育まれたこの小平の地を守り、次代を担う子どもたちに引き継いでいくために、わたしたち小平市民は、友愛の心を持ち、平和の実現に努めていきます。

小平市は、戦後 60 周年にあたり、すべての国の核兵器の廃絶を求め、平和への誓いを新たにし、ここに非核平和都市であることを宣言します。

平成 17 年 6 月 7 日

小平市

平和宣言

皆さん、自国の安全保障のためには核戦力の強化が必要だという考え方をどう思われますか。また、他国より優位に立ち続けるために繰り広げられている軍備拡大競争についてどう思いますか。ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラエル・パレスチナ情勢の悪化により、罪もない多くの人々の命や日常生活が奪われています。こうした世界情勢は、国家間の疑心暗鬼をますます深め、世論において、国際問題を解決するためには拒否すべき武力に頼らざるを得ないという考えが強まっていないでしょうか。こうした状況の中で市民社会の安全・安心を保つことができますか。不可能ではないでしょうか。

平和記念資料館を通して望む原爆死没者慰霊碑、そこで祈りを捧げる人々の視線の先にある原爆ドーム、これらを南北の軸線上に配置したここ平和記念公園は、施行から今日で75年を迎える広島平和記念都市建設法を基に、広島市民を始めとする平和を願う多くの人々によって創られ、犠牲者を慰霊し、平和を思い、語り合い、誓い合う場となっています。

戦後、我が国が平和憲法をないがしろにし、軍備の増強に注力していたとしたら、現在の平和都市広島は実現していなかったのです。この地に立てば、平和を愛する世界中の人々の公正と信義を信頼し、再び戦争の惨禍が起こることのないようにするという先人の決意を感じることができるはずです。

また、そうした決意の下でヒロシマの心を発信し続けた被爆者がいました。「私たちは、いまこそ、過去の憎しみを乗り越え、人種、国境の別なく連帯し、不信を信頼へ、憎悪を和解へ、分裂を融和へと、歴史の潮流を転換させなければなりません。」これは、全身焼けただれた母親のそばで、皮膚がむけて赤身が出ている赤ん坊、内臓が破裂して地面に出ている死体…生き地獄さながらの光景を目の当たりにした当時14歳の男性の平和への願いです。

1989年、民主化に向けた市民運動の高まりによって、東西冷戦の象徴だったベルリンの壁が崩壊しました。かつてゴルバチョフ元大統領は、「われわれには平和が必要であり、軍備競争を停止し、核の恐怖を止め、核兵器を根絶し、地域紛争の政治的解決を執拗に追求する」という決意を表明し、レーガン元大統領との対話を行うことで共に冷戦を終結に導き、米ソ間の戦略兵器削減条約の締結を実現しました。このことは、為政者が断固とした決意で対話をするならば、危機的な状況を打破できることを示しています。

皆さん、混迷を極めている世界情勢をただ悲観するのではなく、こうした先人たちと同様に決意し、希望を胸に心一つにして行動を起こしましょう。そうすれば、核抑止力に依存する為政者に政策転換を促すことができるはずで、必ずできます。

争いを生み出す疑心暗鬼を消し去るために、今こそ市民社会が起こすべき行動は、他者を思いやる気持ちを持って交流し対話することで「信頼の輪」を育み、日常生活の中で実感できる「安心の輪」を、国境を越えて広めていくことです。そこで重要になるのは、音楽や美術、スポーツなどを通じた交流によって他者の経験や価値観を共有し、共感し合うことです。こうした活動を通じて「平和文化」を共有できる世界を創っていきましょう。特に次代を担う若い世代の皆さんには、広島を訪れ、この地で感じたことを心に留め、幅広い年代の人たちと「友好の輪」を創り、今自分たちにできることは何かを考え、共に行動し、「希望の輪」を広げていただきたい。広島市は、世界166か国・地域の8,400を超える平和首長会議の加盟都市と共に、市民社会の行動を後押しし、平和意識の醸成に一層取り組んでいきます。

昨年度、平和記念資料館には世界中から過去最多となる約198万人の人が訪れました。これは、かつてないほど、被爆地広島への関心、平和への意識が高まっていることの証しとも言えます。世界の為政者には、広島を訪れ、そうした市民社会の思いを共有していただきたい。そして、被爆の実相を深く理解し、被爆者の「こんな思いは他の誰にもさせてはならない」という平和への願いを受け止め、核兵器廃絶へのゆるぎない決意を、この地から発信していただきたい。

NPT（核兵器不拡散条約）再検討会議が過去2回続けて最終文書採択できなかったことは、各国の核兵器を巡る考え方に大きな隔りがあるという厳しい現実を突き付けています。同条約を国際的な核軍縮・不拡散体制の礎石として重視する日本政府には、各国が立場を超えて建設的な対話を重ね、信頼関係を築くことができるよう強いリーダーシップを発揮していただきたい。さらに、核兵器のない世界の実現に向けた現実的な取組として、まずは来年3月に開催される核兵器禁止条約の第3回締約国会議にオブザーバー参加し、一刻も早く締約国となっていただきたい。また、平均年齢が85歳を超え、心身に悪影響を及ぼす放射線により、様々な苦しみを抱える多くの被爆者の苦悩に寄り添い、在外被爆者を含む被爆者支援策を充実することを強く求めます。

本日、被爆79周年の平和記念式典に当たり、原爆犠牲者の御霊に心から哀悼の誠を捧げるとともに、核兵器廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向け、改めて被爆者の懸命な努力を受け止め、被爆地長崎、そして思いを同じくする世界の人々と共に力を尽くすことを誓います。皆さん、希望を胸に、広島と共に明日の平和への一步を踏み出しましょう。






令和6年（2024年）8月6日

広島市長 松井一實

「小・中学生広島平和学習」の日程

1日目 8月5日(月)

朝食× 昼食○ 夕食○

時 間	内 容	場 所・備 考
7:30	参加者集合	市役所 立体駐車場東側
7:35	出発	
7:47	青梅街道駅発 	
7:54	国分寺駅着	
8:04	国分寺駅発	
8:54	東京駅着	
9:30	東京駅発 	のぞみ21号
	昼食(車内) 	
13:27	広島駅着	
13:50	マイクロバスで移動	
14:15	広島平和記念公園着	荷物はバスに置いておく
14:15~16:45	公園内見学	原爆ドーム、慰霊碑 原爆の子の像(折り鶴) 平和記念資料館等
16:50	マイクロバスで移動	
17:45	ホテル着	
17:45~18:10	荷物等身辺整理	
18:20~19:10	夕食 	ホテル内
19:10~19:20	明日の日程説明	
19:20~	入浴・自由時間	
	検温	体調確認見回り(高橋)
	_____℃	
21:00	消灯・就寝 	

2日目 8月6日(火)

朝食○ 昼食○ 夕食×

時間	内容	場所・備考
4:40~5:20	起床・洗面 清掃・身辺整理 検温	
5:20~5:50	朝食  出発準備	
6:00	マイクロバスにて出発	ホテル発
6:45	広島平和記念公園着	受付は7:20まで
8:00~8:45	平和記念式典参列	
8:45~10:00	休憩・献花	1人1束
10:30	マイクロバスにて移動	
11:00~12:00	昼食(お好み焼き) 徒歩にて移動 	ひろしまお好み物語
12:10	広島駅着	
12:10~12:55	班ごとに自由行動	土産店等
12:55	集合	
13:18	広島駅発 	のぞみ28号
17:15	東京駅着	
17:34	東京駅発 	
18:20	国分寺駅着	
18:39	国分寺駅発	
18:45	青梅街道駅着	
18:55	市役所到着・解散	



事前研修・広島での様子

事前研修

令和6年7月6日（土）午後2時30分～4時30分
中央公民館

保護者同席のもとで日程や持ち物などの説明を行い、その後、参加者のみで事前研修を行いました。

他の参加者や引率する青少年委員・看護師・小平市職員と初めて会って、最初は緊張していた参加者も、班ごとのワーキングをとおして、次第に緊張がほぐれ、みんな笑顔になっていきました。

最後に宿題を出されて、びっくりしていたみなさんですが、8月5日に元気で会うことを約束して、事前研修は終わりました。



広島での様子

令和6年8月5日（月）～8月6日（火）

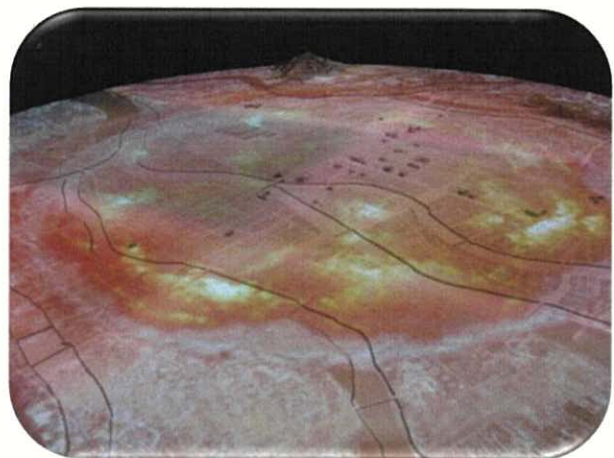
8月5日は、原爆ドーム→平和の時計塔→平和の鐘→原爆の子の像→平和の灯（ともしび）→原爆死没者慰霊碑→アオギリ→広島平和記念資料館→爆心地の順に歩いて見学しました。原爆の子の像では、参加者みんなで折った千羽鶴を捧げました。

とても暑く、人ごみの中での見学となりましたが、被爆当時の惨状を残す原爆ドームを間近に見て、みなさんの「遠い昔の遠い所での出来事」という思いは変わったようです。



広島平和記念資料館では、「平和学習ワークブック」を片手にメモをとりながら、模型や映像・写真、被爆資料などを見て、原爆の恐ろしさをあらためて知りました。

広島までの新幹線車内で賑やかだった参加者も、みんな真剣に見学していたのがとても印象的でした。



8月6日は、平和記念式典に参加しました。厳しい日差しで、とても暑い日になりましたが、前日に学んだことを振り返りながら、また、原爆が投下された当時もこのように暑い日であったことを想いながら、祈りを捧げました。

式典終了後には、世界平和の願いをこめて1人ずつ献花を行いました。



事後研修

被爆体験者の講演記録の上映

令和6年8月17日（土）午後3時～午後3時50分

小平市原爆被爆者の会会員である田中^{たなか}美光^{よしみつ}さんの過去の講演を撮影した映像を見ました。

「小・中学生広島平和学習」の参加者は、最前列で一般参加者とともに映像を見て、実際に広島へ行って学んできたことと合わせて、平和の大切さについてあらためて深く考える機会となりました。



報告会

令和6年8月17日（土）午後3時50分～午後4時10分

「被爆体験者の講演記録の上映」に引き続き、参加者から広島へ行って学んだことを1人ずつ報告してもらいました。

平和な世の中をつくっていくために大切だと思うことや、そのために自分たちができることなどについて、ひとりひとりが考えて発表し、みんなとても立派な報告でした。



参加者の声

参加者は、事前研修で学んだことなど、様々な想いを胸に抱いて広島を訪問しました。

事前研修や事後研修などでまとめた参加者の声は、以下の4つの視点から書かれています。

- ① 平和学習に参加する前の広島のイメージ
- ② 平和学習に参加した後の広島のイメージ
- ③ 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて何が一番印象に残ったか
- ④ 平和な世の中をつくっていくために何が大切で、そのために自分たちができることは何か

参加者が自分の目で見て、耳で聴いて、肌で感じてきたことが、自分の言葉でつづられています。

参加者のみなさんは、実際に広島へ行ってどのようなことを感じたのでしょうか。



広島について思うこと・・・

氏名(吉野 海人)

【広島平和学習に参加する前】

- 原爆が落ち、多くの人々が被害者となった
- もえた三りん車がある。
- 今でも苦しめられている人がいる。
- 亡くなった人の中には、名前がわが家かた人もいる。

【広島平和学習に参加した後】

- 残った人でも、原爆症によって苦しめられている。
- 戦争のひさびさを伝えようとしている人がいる。
- 平和記念資料館には、当時の原爆のいかにひどくかわかるものがたくさん展示されていた。
- 核兵器をいっしょくたに絶たせようとしている人が、たくさんいる。

思い出して、考えてみましょう。

小平14小学校 6年

氏名: 吉野 海人

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

ぼくが、一番印象に残ったのは、平和の鐘
です。あれには、核兵器と戦争のない、
世界を目指すシンボルだったので、鐘を
なりしたときに、その思いが伝わってき
ました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつかっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

ぼくが、平和の世の中をつくるの
に大切だと思うのは、人との関わり
方。一コマちがえると、すぐケツカになって
しまいます。だから、平和な世の中をつく
るために人との関わり方を、これか
も、学校で意識していきたいです。

広島について思うこと・・・

氏名(飯田 崇介)

【広島平和学習に参加する前】

- ・原爆がどのようなものか知りたい。
- ・教科書でしか見たことがないような場所があるので、どのような場所か気になる。
- ・平和記念式典について知りたい。
- ・広島が今のような活気のある都市に戻るまでの歴史について学びたい。
- ・原爆がどのような方法で落とされたか知りたい。

【広島平和学習に参加した後】

- ・原爆によって広島が焼野原になったことを知った。
- ・様々な後遺症があることも知った。

思い出して、考えてみましょう。

小平市立小平^第三中 学校 三 年 氏名: 飯田 崇介

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

資料館で被爆前と被爆後の街をCGで再現した展示が一番印象に残りました。一発の原爆で一瞬にして街が変わっていく様子を見て、79年前、自分が立っている広島とは全く違う光景が広がっていたのを感じました。また資料館では学校の教科書には載っていないような写真や展示物をたくさんみることができ、改めて原爆の恐ろしさを知ることができました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思えますか。

平和を守っていくためには核の三原則を守ることが大切だと思いました。現在もロシアやウクライナ、パレスチナ、イスラエルなどの戦争で多くの人が命を落している中、たくさんの国が核兵器を保有しています。僕はその核兵器が使われなくなり、なくなることをお願いしたいです。僕たちができることは広島に行って学んだ核兵器の恐ろしさを、一人でも多くの人に伝えることだと思います。広島で目にしたこと、学んだことを伝えることで平和の大切さを知ってもらいたいと思います。

広島について思うこと・・・

氏名(杉本 見晴)

【広島平和学習に参加する前】

- お好み焼きがおいしい。広島の人々はへろで、そのままお好み焼きを食べるらしい。
- 原爆のおとされたところで、戦争について知ることが出来る。
- 東京からけっこう遠い。
- 広島お好み焼きはつくるのがおこく大変そう。

【広島平和学習に参加した後】

- 一発の爆弾で全てが焼きつくさぬ、何も残らなかつたということを知り、平和な街の中にもたつ原爆ドームを見ると、大きな傷がまた残っていると実感し、おそろしくなった。
- 人を消してしまう原爆の恐怖を少し分かった。
- 核爆弾を使おうとする人たちの考えがさっぱり分からなくなった。
- 肌がとけるなどのことは戦争だとあたり前だと知りおそろしくなった。

思い出して、考えてみましょう。

小平第四中

学校 3 年

氏名: 杉本 見晴

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

僕が一番印象に残ったのは、貞子さんの像の下に千羽鶴が大量にあったことです。それも保管庫のカバーが膨れ上がるほど鶴が入っていました。日本、いや世界にはこれだけ沃山の人が平和を求めていると知りました。最近では戦争になってもいいと考える人が多くなっていると聞きます。しかしこれだけ多くの方が平和を求めていると知り、僕は戦争反対という考えに自信を持てるようになりました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思えますか。

平和な世の中をつくるためにどうしたら良いかと考えた時、僕たち一人一人にできることは少ないと思います。大人にならなければ平和のために寄付など直接的な支援も難しいと思います。そのため僕は大人になるまで「平和を愛する」ということを続けたいと思います。「愛する」とは「考え続ける」ことだと思います。平和について考え、戦争について考え、そして解決策やそのために何をすれば良いのかを自分なりに考える。それが僕たちが今、平和な世の中をつくるためにできることだと思います。

広島について思うこと・・・

氏名(竹下 雄惺)

【広島平和学習に参加する前】

世界でたった2か所しかない「被爆都市」の一つとしてしばしば片仮名で「ヒロシマ」と表記されているのを見ると、かたくりしいような、少し怖いような印象を受ける。実際、教科書や本などで何度も「戦争」と関連づけて取り上げられているのを目にし、広島≒戦争というイメージを持っており面もある。私の中では広島ときりて一番に思い浮かぶのは原爆ドームであり宮島や紅葉まんじゅう、お好み焼きはその次以降だ。それだけ原爆が広島に与えた影響は大きかったと感じる。

【広島平和学習に参加した後】

「被爆都市」という負の歴史もかかえつつも、それを2度と繰り返さないうよう「街」として強い意志を持っていることが平和公園の各所から感じられた。また、一見すると原爆が落ちた街とは思えないほどに復興し、人が住み続けていることに、原爆資料館の(戦後初の)写真を見たことでより感動を覚えた。

思い出して、考えてみましょう。

早稲田実業 学校 3 年 氏名: 竹下 雄惺

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

たった1個の原爆によって一瞬にして街から
全てが消え去り一面の焼け野原になってしまった
ことがCGを使用した展示によりよりリアルに
伝わり衝撃を受けた。自分の住む東京でも同じ
ことが起こったらと考えると非常に恐ろしく思えた。

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

戦争は国が起こすもつであり、私たちには直接
それを起こしたり止めたりすることはできな
い。だからこそ国が主導となって戦争の脅威を認識
しなければならぬと思う。そのために私たちができる
ことは、政治に関する知識をつけ、関心を持ち、
戦争反対をスローガンに掲げる政治家に投票
することだと考えられる。

広島について思うこと・・・

氏名(中村 時雨)

【広島平和学習に参加する前】

「日本が唯一の被爆国」ということについて、80年前に何があったのか知るべきだと思った。また、今も世界中で戦争などが多くなり、何の心配もなく生活することができている自分たちからこそ、実際に目で見たり聞いたように、「核」がどれほど恐ろしいものなのかわかり、もう一度、80年前の悲劇的な出来事や経緯を、よりに後世に伝えるべきだと思った。

【広島平和学習に参加した後】

「原子爆弾」がどれほど多くの人の命を奪い、日常を奪った兵器なのかを目で見て理解できた。また、もう一度こんなことはあってはならないと思ふ。戦争がどれほど悲惨で、悲しいものなのかを後世に伝えていくのが、この学習に参加した我々の役割であり責任だと思ふ。

思い出して、考えてみましょう。

小平村苑 小金井南 学校 3 年 氏名: 中村 時雨

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

平和記念資料館には、被爆した人々の最後の言葉や日記、家族に向けて書いた手紙などがあり、とても強く胸が締めつけられるような感覚でとても苦しかった。そして、このような出来事が家族に起きたらと想うと涙が出なかった。また、痛々しいやけどの写真や傷の写真などもあり、原爆というものがとても怖い、恐ろしく、悲惨で、とても多くの人の日常を奪った兵器なのかを理解することができた。

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世の中をつくっていくためには、お互いがお互いを理解し合い、意見を尊重することが一番大切だと思った。また、もう二度とヒロシマのような惨状を起さないために、周りの人や後世に伝えていき、「戦争」がどれだけ悲惨で悲しいことなのか、しっかりと伝え続けることが自分たちの役割であり、唯一の被爆国である日本には、私達の責任だと思いました。

広島について思うこと・・・

氏名 (糠盛岳大)

【広島平和学習に参加する前】

- 原爆が落とされて多くの人が命を落とした場所。
- 英語の授業で見たさだこさんの像を見てみた。
- 戦争の悲惨さを知り戦争を繰り返さないためみんなに伝えていきたい。

【広島平和学習に参加した後】

- 被爆した人は、戦争が終わった今でも、こういうなとで苦しんでいる人がたくさんいる。
- 戦争がもう二度と起きないようにみんなに戦争の残りのことを伝えて平和な国を目指したい。
- これからも平和について考え伝えてい。
- 自分が思うものよりもさらに残りの悲惨だった。

思い出して、考えてみましょう。

小千第三中

学校

3年

氏名: 糠盛岳大

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、印象に残ったのは、資料館の写真です。写真には多くの人が写っており、戦争の悲惨さや平和の大切さを学べました。この経験から、戦争は小千と改め思いました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつつていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世の中は、自分自身で実現できるものではないので、友達や家族に広げて、あたことを伝えたりして、戦争を繰り返さないことが必要だと感じます。また、戦争を体験していない人にも伝え、繰り返さないことが大切だと思います。

広島について思うこと・・・

氏名 (松居紅葉)

【広島平和学習に参加する前】

- ・原爆がおとされた場所。(戦争)
- ・たくさんのケガ人がでたばしょ。
- ・原爆ドームがある。
- ・物言の工場所でもある。
(ちいちゃんのかげおくりなど)
- ・平和をちがたところ。
- ・おこのみやきがおもしろいところ!!
- ・つらいおもいをしている人たちがいるところ。
- ・平和の意味した像があるところ
- ・たくさんの人になくなったところ

【広島平和学習に参加した後】

- ・原爆によって罪の無い人たちがなくなった
- ・ケロイドなどたくさんの人がかかるしんだい
- ・戦争への考えかたが変わった。
- ・実際にじぶんの目で見て、おそろしくことごとくあらためて思った。
- ・おこのみやきがめっちゃおもしろかった!!!

思い出して、考えてみましょう。

十五小 学校 6 年 氏名: 松尾 糸工 葉

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。
印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

私が一番心に残ったのは、資料館での被爆者の声の場所です。

理由は、実際に原火暴が落ちてきたときの牛鈴や声を聞いて、原火暴がものすごくおそろしいことをあらためて実感したからです。

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。
また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

私は、平和な世の中をつくっていくために、力だけで解決するのではなく、しっかりと話し合いをしていくことが必要だと思います。そのために一人一人の意見をしっかりと聞いて理解していくことが大切だと思っています。戦争というものは、何一つして幸せをもたらすものではないと思います。私はこの体験したことを、家族や友達に忘れないように伝え続けたいし、みんなといっしょに考え続けたいです。

広島について思うこと・・・

氏名 (南野 美雪)

【広島平和学習に参加する前】

- 世界で初めて原子爆弾が投下され、当時の建物が今も残っている歴史的に重要な場所。
戦争と平和の歴史が集まっている場所。
- 戦争とは何なのか、平和とは何なのかを考え、体験してみたい。
歴史について知り、広島について知り、自分の考えを深めたい。
- 大切なのは自分自身の体をもって「知る」と。
知らないでいる方がおと恐ろしいと思うから、戦争の恐怖も、平和を願う人々の思いも、まずは知ってみたい。

【広島平和学習に参加した後】

- 原爆の被害の詳細を知る事ができた。
より原爆への理解を深め、現実で起ったこととして認識できた。
- 広島という土地に、人々の平和への思いが込められているのを感じ取れた。また、街のにぎやかな様子からは、歴史の上の悲劇は感じられなかった。
- 今回の体験で学べたこともあったが、疑問に思うことも多かった。
これで終わらせずに見聞を広め、自分の考えを更に深めたい。
- 広島にまた行きたい。

思い出して、考えてみましょう。

小平第五中

学校 3 年

氏名: 南野美雪

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

一つは平和記念資料館の見学だった。79年前から残る物や写真を見て、私の中ではただの物語だった戦争や原爆が、現実で起こっていたんだと痛感させられた。また、被爆者一人一人の体験に触れて、生々しいものを感じたと同時に、戦争というものの無常さもし理解できたと思う。もう一つ、2日間で一番印象に残った言葉は、「平和の鐘」に書かれていた「自己を知れ」という言葉だった。端的でいて、とても心を動かされた。本当に理解するべきものは何かを教えたと思う。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

今回の平和学習で、今の世界が本当に私たちの望む平和であるとは言い難いことがよくわかった。そして、人々が戦争の痛みを忘れれば、また同じことが繰り返されるだろうということも感じとった。その中で、少しでも平和な世の中に近づいていくためには、人々がもっと深く過去に起きた出来事を知り、忘れず、そして伝えていくことが必要なのだと思う。また、私たちも過去を知る姿勢をつくり、その痛みを後世に伝えられるようにしておかなければならない。

広島について思うこと・・・

氏名(吉野美音)

【広島平和学習に参加する前】

- ・原爆が落とされた場所
- ・原爆ドームがある県
- ・G7広島サミットが行われた所
- ・助けた人、助けられなかった人の数を見つか、正しい人について知りたい。
- ・長く人の心に残る「戦争」の意味、どれほどの恐怖が現地に。行く。こわしく知りたい。

お好み焼き食べたい。

【広島平和学習に参加した後】

原爆が落とされて、79(の)人が亡くなった。
亡くなった人を知るものまで、原爆による、こわく怖いため平和
記念資料館。ある服など見つか、こ家族はつれしからたと
思う。

原爆の被害があの範囲を見てみたら、ものは、範囲が広く、生きの
こわいだろうと思った。

原爆による、その被害がこわく描いた絵があったが、怖くこわく、怖く
わかるような絵で少し怖くなった。

今こあまり怖くない日常に、原爆が落とされて、もし今落と
れたらと思うと、怖くこわくしかたがない。

お好み焼きはおいしかった。

思い出して、考えてみましょう。

小幡立小平第六中 学校 3 年 氏名: 吉野美音

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

被爆した時やその後を描いた絵。

その時の状況が鮮明に描かれていて少し怖くなった。

明るい色がなく赤や黒色で主に描かれていて、炎の強さ、残酷さがよく見えた。

あまり今と変わらない状況でいきなり原爆が落とされると思っていなかった。今落ちてきたら怖いと思います。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

資料館に国内外から人が来ていたので、いいね、ありがとう、と思ったので、ノートに書きまわせたので、それを書きまわせたのを一般の人にも見せることができていると思います。

今でも海外でも戦争があるので、この国の人に見に来てほしいと思います。戦争をなくすれば人々がそれを知り、認めあうことが大事だと思います。

日本は戦争をしない国でよかったと思う。そうであれば、今も日本で戦争によって苦しむ人が増えていってほしくない。

広島について思うこと...

氏名 (望月 夢花)

【広島平和学習に参加する前】

- 原爆が落とされた場所。 ◦ 焼け野原になった場所。
- 戦争の後遺症が残っている。
- 国の代表の争い(けんか)に巻き込まれて、苦しんだ人々が沢山いる。
- 戦争の被害者がどれだけ悲惨なものか身をもって感じられる場所。
- 子どもから大人までそして、同年代の子やもっと小さな命までが無差別にうけわたった場所。
- おいしい物が沢山!!

【広島平和学習に参加した後】

- 資料館を実際に見てみて、想像の倍以上の悲惨さを感じ取りることができた。
- 原爆の大きさが、人の体よりも大きかったことを知った。
- 資料館や原爆ドームの周辺に住む人の半分が外国人で、沢山の子どもが見学しに来ている。
- 跡もたもなく無くなった建物もあるほか、壊れかけた建物もあり、色々考えさせられた。
- 爆心地から何百メートル、何千メートルも離れた場所まで爆風などによる被害が起きている、とても辛かった。
- お好み焼き、おいしかった。

思い出して、考えてみましょう。

小平第一中

学校

3年

氏名:

望月 夢花

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

私は、平和記念資料館に展示してあった、子どもの学生服などが一番印象に残りました。同年代の中学生3人の遺品として、帽子やベルト・学生服・ケトルなどが展示されているのを見て、言葉を失いました。説明欄を見ると、「いつも通り家を出て行った子ども達が被爆して、還らぬ人となった。そして後に、両親が遺骨や遺品を発見した。」と記載しており、とても心苦しかったです。もし、自分の大切な人が会えないまま、亡くなってしまったりすると、何もできないと思います。だからこそ、今ある人との関わりについて改めて考え直してみることができました。

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世の中をつくっていくためには、人と人のコミュニケーションをもっと増やすべきだと考えました。国の主導権を握る人々が武力ではない方法で、平和に導く判断をしなければならぬけれど、他国では現在も戦争が起きている。戦争を知らない私達でも、できることはまず今回学んだ戦争の恐ろしさを沢山の人の心に伝えてゆくことです。そして、今後の生活でも戦争を他人事だにとらえず、亡くなった人もうやまう気持ちも忘れずに、平和について考えていき続けたいです。

参加者名簿



よしの 吉野	かいと 海人	小平第十四小学校6年
いいだ 飯田	そうすけ 崇介	小平第三中学校3年
すぎもと 杉本	みはる 見晴	小平第四中学校3年
たけした 竹下	ゆうせい 雄惺	早稲田実業学校中等部3年
なかむら 中村	しくれ 時雨	花小金井南中学校3年
ぬかもり 糠盛	たけひろ 岳大	小平第三中学校3年

まつお 松尾	いろは 紅葉	小平第十五小学校6年
みなみの 南野	みゆき 美雪	小平第五中学校3年
もちつき 望月	ゆめか 夢花	小平第一中学校3年
よしの 吉野	みと 美音	小平第六中学校3年

引率：青少年委員2人、看護師1人、地域学習支援課職員1人

2024 小・中学生広島平和学習レポート

令和6年度版

令和6年10月発行

編集・発行

小平市教育委員会教育部地域学習支援課

小平市小川町2丁目1333番地

電話 042-346-9834

chiikigakushushien@city.kodaira.lg.jp

